

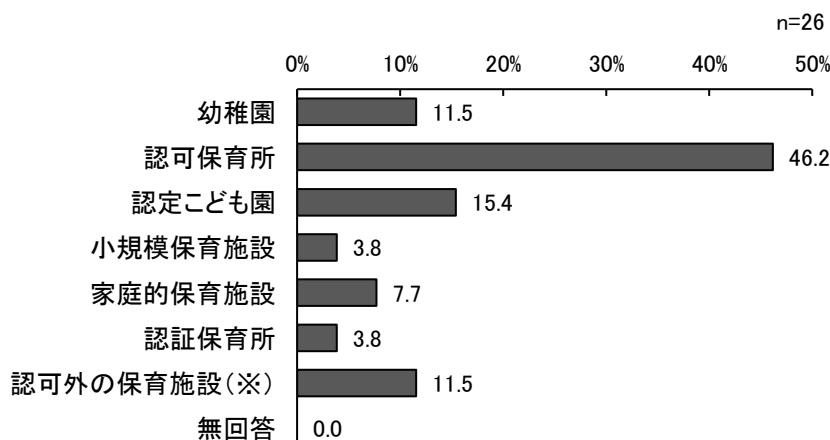
第2章 子育て関連施設の結果

(単純集計)

1 運営状況について

◆施設の種類（問1）

問1 貴施設の種類を教えてください（○は1つ）。



※企業主導型保育事業・院内保育施設・事業所内保育施設

○施設の種類では、「認可保育所」が46.2%、次いで「認定こども園」が15.4%、「幼稚園」と「認可外の保育施設」が11.5%となっています。

◆施設の名称（問2）

問2 貴施設の名称をご記入ください。

◆役職名及び氏名（問3）

問3 貴施設の代表の方からご回答をお願いします。役職名及び氏名をご記入ください。

◆職員の雇用形態別の構成人数（問4）

問4 職員の雇用形態別の構成人数についてお答えください（数字を記入）。

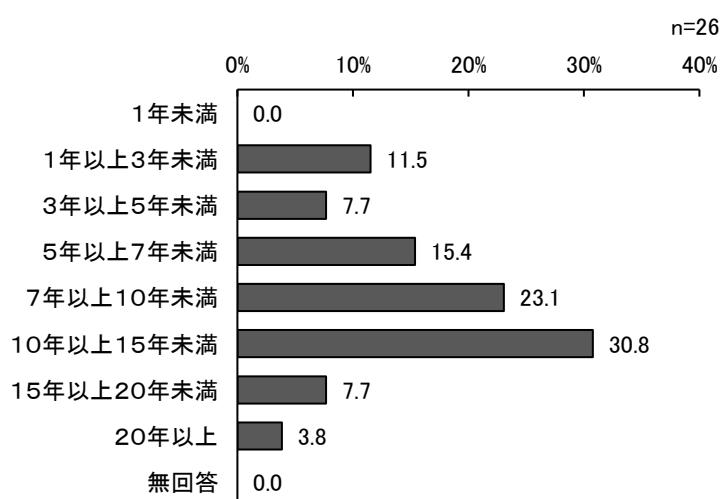
単位：人

	合計	雇用形態				
		正規職員	有期契約職員 (フルタイム)	有期契約職員 (パートタイム)	派遣社員	その他
職員数	26.8	15.8	2.5	7.5	0.5	0.6
保有資格者	幼稚園教諭	6.5	0.6	1.7	0.2	0.1
	保育士	11.5	1.8	4.0	0.4	0.6
	看護師・保健師	0.8	0.1	0.1	0.0	0.0
	栄養士	0.8	0.1	0.1	0.0	0.2
	調理師	0.9	0.1	0.4	0.0	0.2
	その他	1.2	0.6	1.4	0.1	0.3

○職員全体の平均人数は26.8人、正規職員の平均人数は15.8人、有期契約職員（パートタイム）は7.5人となっています。

◆正規職員の平均勤続年数（問5）

問5 正規職員の平均勤続年数についてお答えください（○は1つ）。



○「10年以上15年未満」が30.8%、次いで「7年以上10年未満」が23.1%、「5年以上7年未満」が15.4%となっています。

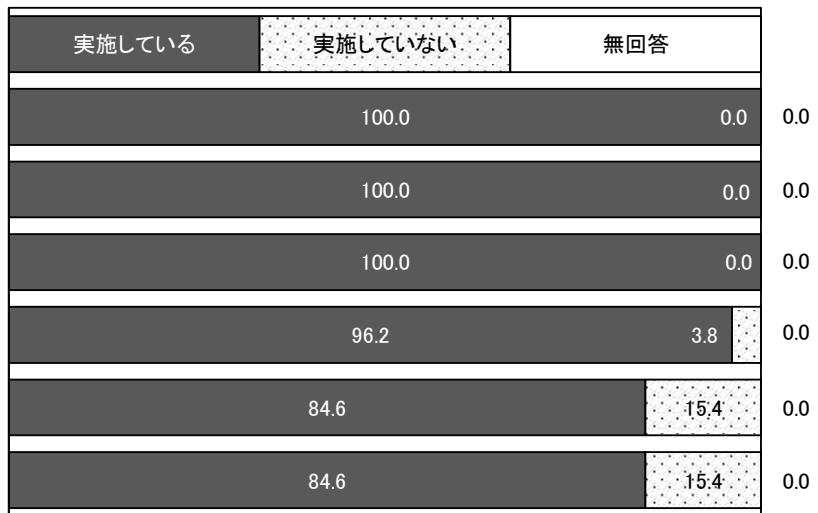
◆保育計画・保育記録について（問6）

問6 保育計画・保育記録についてお答えください（それぞれ〇は1つ）。

＜計画・記録の実施状況＞

n=26
単位：%

- ①それぞれの年齢に合わせた年間の計画・月案
- ②子どもの興味や関心、日々の子ども生活に沿った週案・日案
- ③日々の保育場面における様子の記録
- ④職員会議における保育記録の振り返り
- ⑤保育記録における写真・音声・映像等の使用
- ⑥日々の保育場面における保護者への写真・映像等の発信



- 「①年間の計画・月案」「②週案・日案」「③様子の記録」は全ての施設で実施していました。その他も8割以上と高い実施率でした。

＜計画・記録の活用状況＞

n=26
単位：%

- ①それぞれの年齢に合わせた年間の計画・月案
- ②子どもの興味や関心、日々の子ども生活に沿った週案・日案
- ③日々の保育場面における様子の記録
- ④職員会議における保育記録の振り返り
- ⑤保育記録における写真・音声・映像等の使用
- ⑥日々の保育場面における保護者への写真・映像等の発信



- 「①年間の計画・月案」「②週案・日案」「③様子の記録」「④保育記録の振り返り」は9割以上の施設で活用していました。その他の活用状況の割合も7割以上と高くなっています。

◆ドキュメンテーションについて（問7）

問7 園でおこなっているドキュメンテーション（※）についてお答えください（それぞれ〇は1つ）。※ドキュメンテーションとは、子どもたちの会話や行動、その日の活動内容等を、写真や動画、コメント等で記録し、みんなが見えるようにすること。

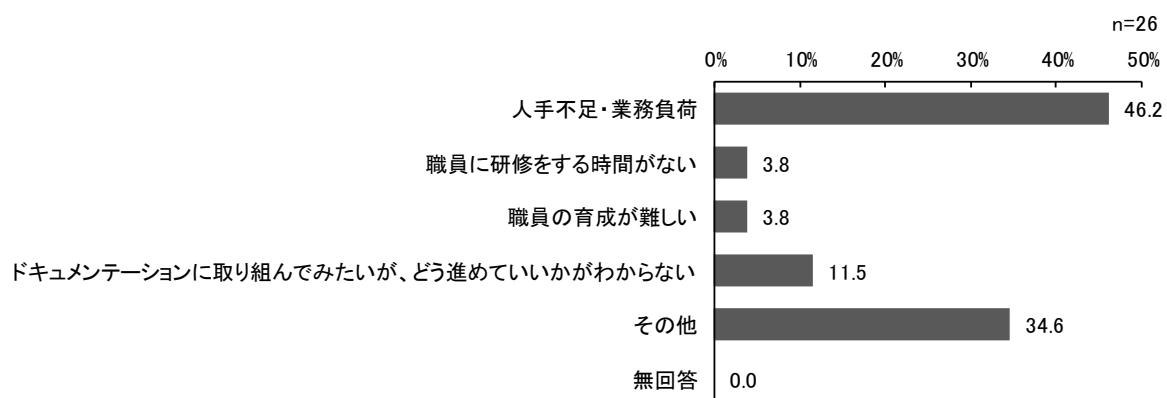
n=26
単位:%

	毎日	週に2~3回	週に1回	月に2~3回	月に1回	半年に1回	実施していない	無回答
①クラス日誌	46.2	0.0	3.8	3.8	7.7	0.0	38.5	0.0
②園児日誌	38.5	3.8	0.0	0.0	3.8	0.0	53.8	0.0
③保護者向け掲示物	30.8	3.8	11.5	26.9	11.5	0.0	15.4	0.0
④子ども向け掲示物	11.5	0.0	3.8	23.1	11.5	7.7	42.3	0.0
⑤連絡帳（アプリケーション等の活用を含む）を配布・配信	69.2	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	26.9	0.0
⑥園だより（園ブログ等の活用を含む）を配布・配信	7.7	0.0	3.8	19.2	61.5	3.8	3.8	0.0
⑦日常的な職員同士の会話（職員会議を除く）	38.5	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	57.7	0.0

- 「⑤連絡帳を配付・配信」は「毎日」の実施率が69.2%、「①クラス日誌は」は「毎日」の実施率が46.2%と高くなっています。一方で、「⑦日常的な職員同士の会話」は「実施をしていない」が57.7%、「②園児日誌」は「実施をしていない」が53.8%と高い割合となっています。

◆取り組む上で困っていること（問8）

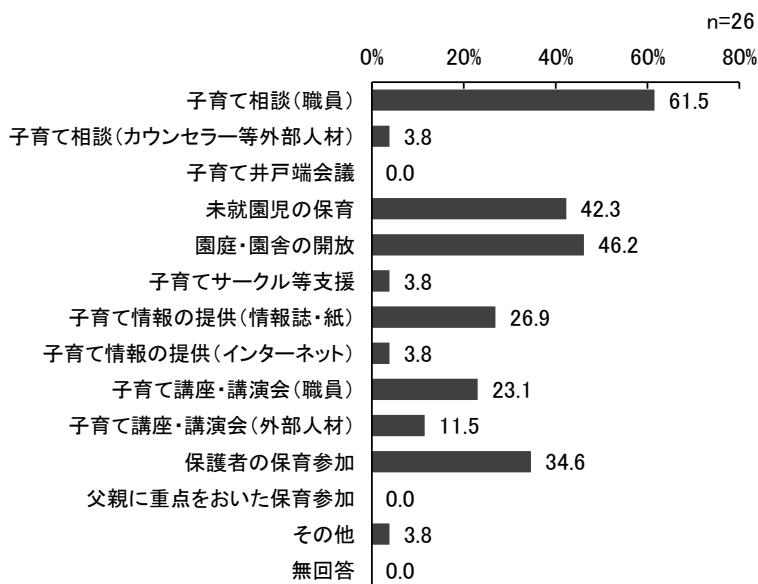
問8 ドキュメンテーションに取り組む上で困っていることはありますか（〇は1つ）。



- 「人手不足・業務負荷」が46.2%、次いで「その他」34.6%、「ドキュメンテーションに取り組んでみたいが、どう進めていいかがわからない」が11.5%となっています。他の内容としては“機器等の環境が整っていない”や“配信するにあたり個人差（主に配信される登場回数）が出ないように配慮が必要”等の意見がありました。

◆カリキュラム以外に実施している事業内容（問9）

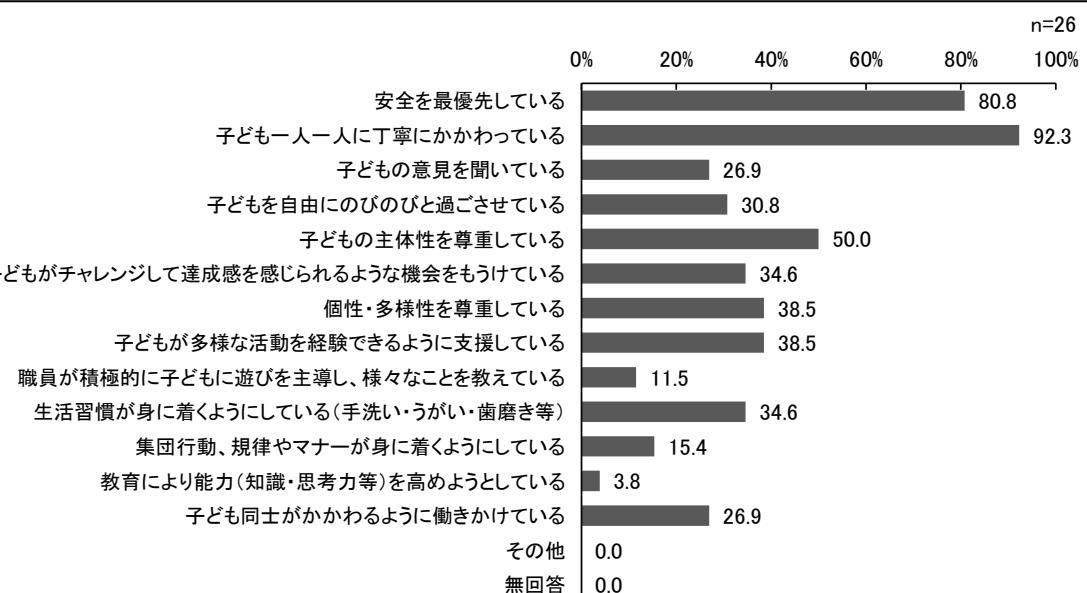
問9 カリキュラム以外に実施している事業内容についてお答えください（特にあてはまるもの3つまでに○）。



- 「子育て相談（職員）」が 61.5%、次いで「園庭・園舎の開放」が 46.2%、「未就園児の保育」が 42.3%となっています。

◆日々の保育で気を付けていること（問10）

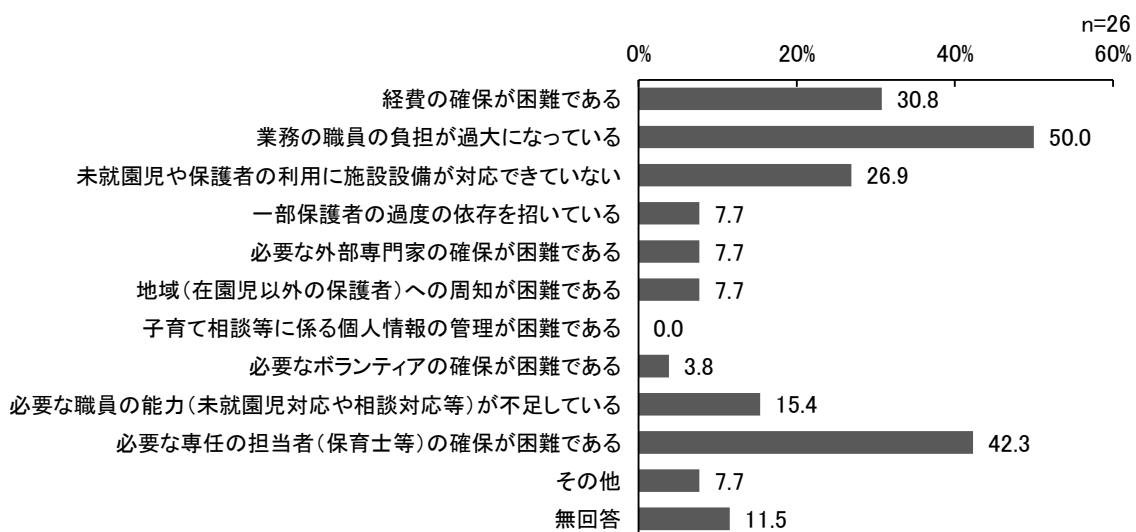
問10 日々の保育で気を付けていることは何ですか（特にあてはまるもの5つまでに○）。



- 「子ども一人一人に丁寧にかかわっている」が 92.3%、次いで「安全を最優先している」が 80.8%、「子どもの主体性を尊重している」が 50.0%となっています。

◆現在の運営上の課題（問 11）

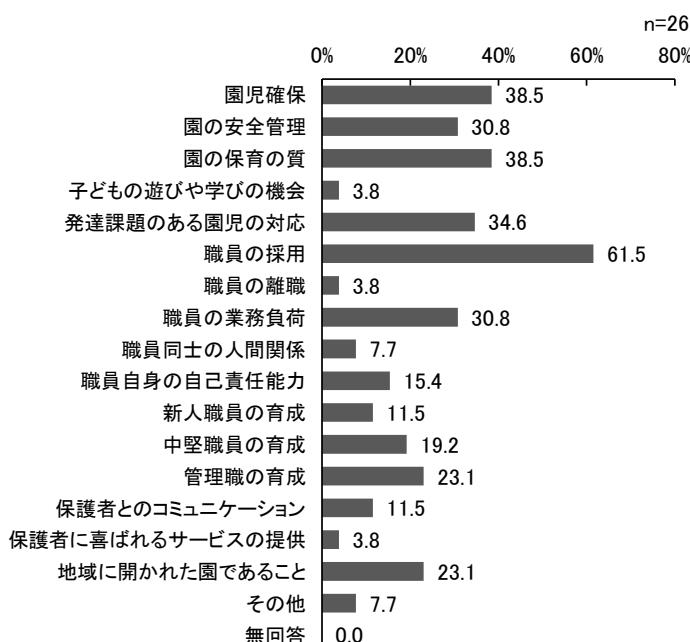
問 11 現在の運営上の課題についてあればお答えください（特にあてはまるもの 3つまでに○）。



- 「業務の職員の負担が過大になっている」が 50.0%、次いで「必要な専任の担当者（保育士等）の確保が困難である」が 42.3%、「経費の確保が困難である」が 30.8%となっています。

◆今後の運営上の課題（問 12）

問 12 今後の運営上の課題についてあれば答えください（特にあてはまるもの 5つまでに○）。

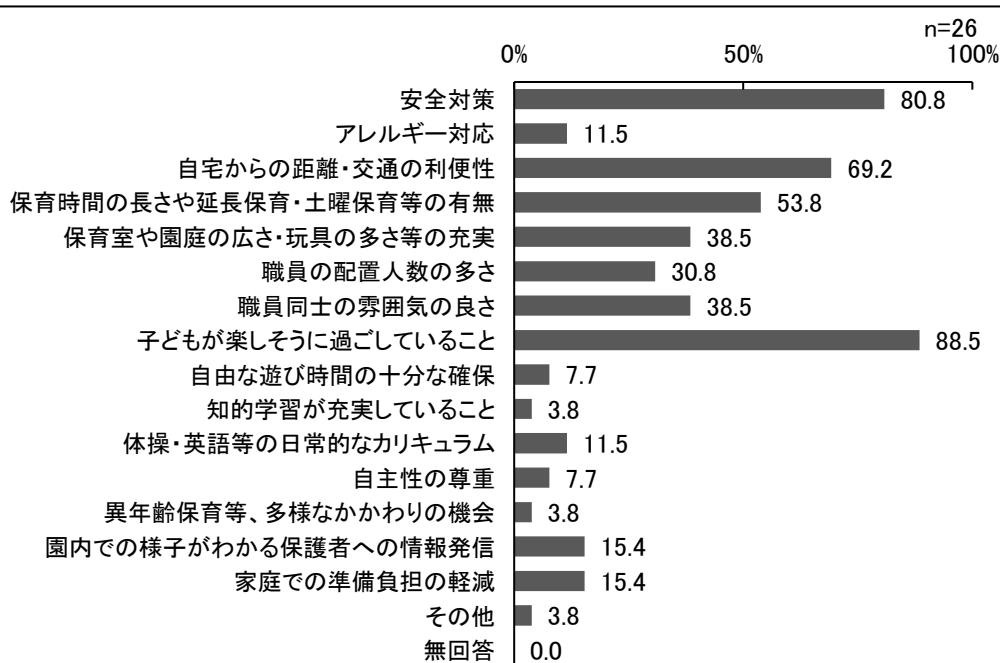


- 「職員の採用」が 61.5%、次いで「園児確保」と「園の保育の質」が 38.5%となって います。

2 保護者のニーズの内容と対応状況について

◆保護者が園選びで重視すること（問13）

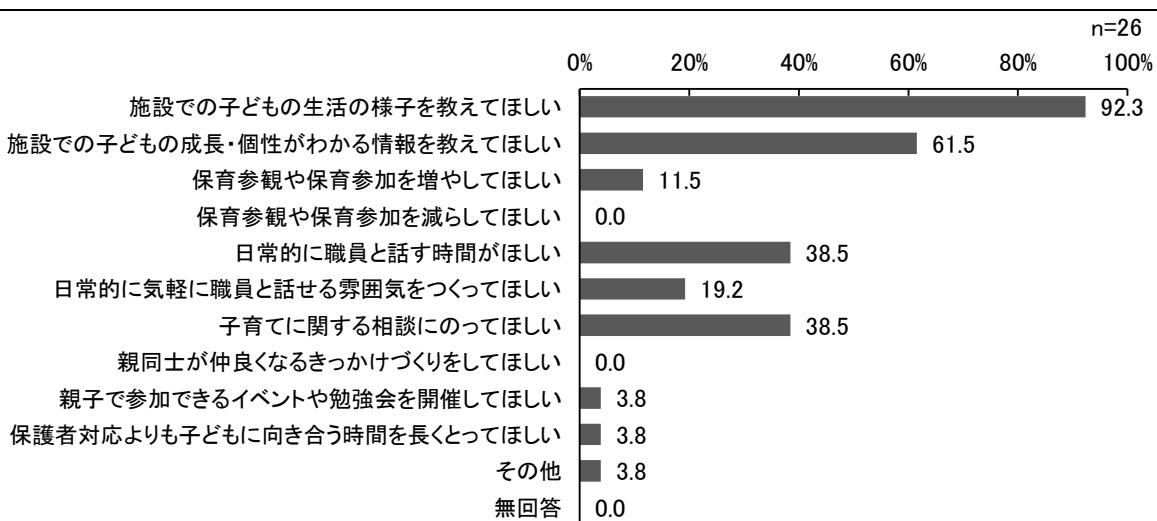
問13 保護者が園選びで重視することは何だと思いますか（特にあてはまるもの5つまでに○）。



- 「子どもが楽しそうに過ごしていること」が 88.5%、次いで「安全対策」が 80.8%、「自宅からの距離・交通の利便性」が 69.2%となっています。

◆保護者が施設に求めるニーズ（問14）

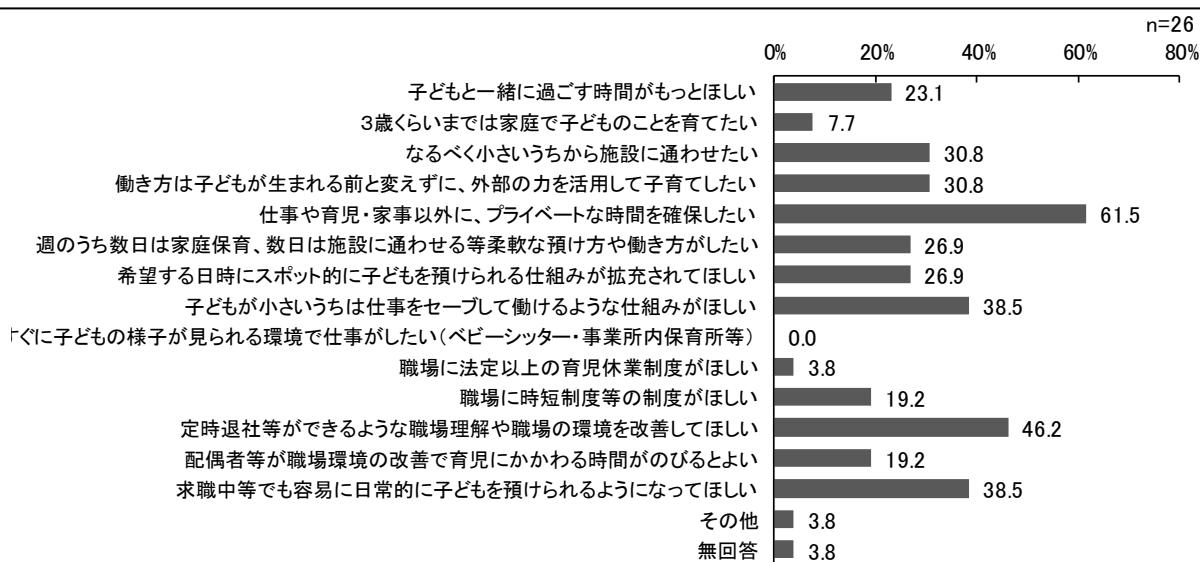
問14 保護者が施設に求めるニーズは何だと思いますか（特にあてはまるもの3つまでに○）。



- 「施設での子どもの生活の様子を教えてほしい」が 92.3%、次いで「施設での子どもの成長・個性がわかる情報を教えてほしい」が 61.5%となっています。

◆子育ての要望、問題点（問 15）

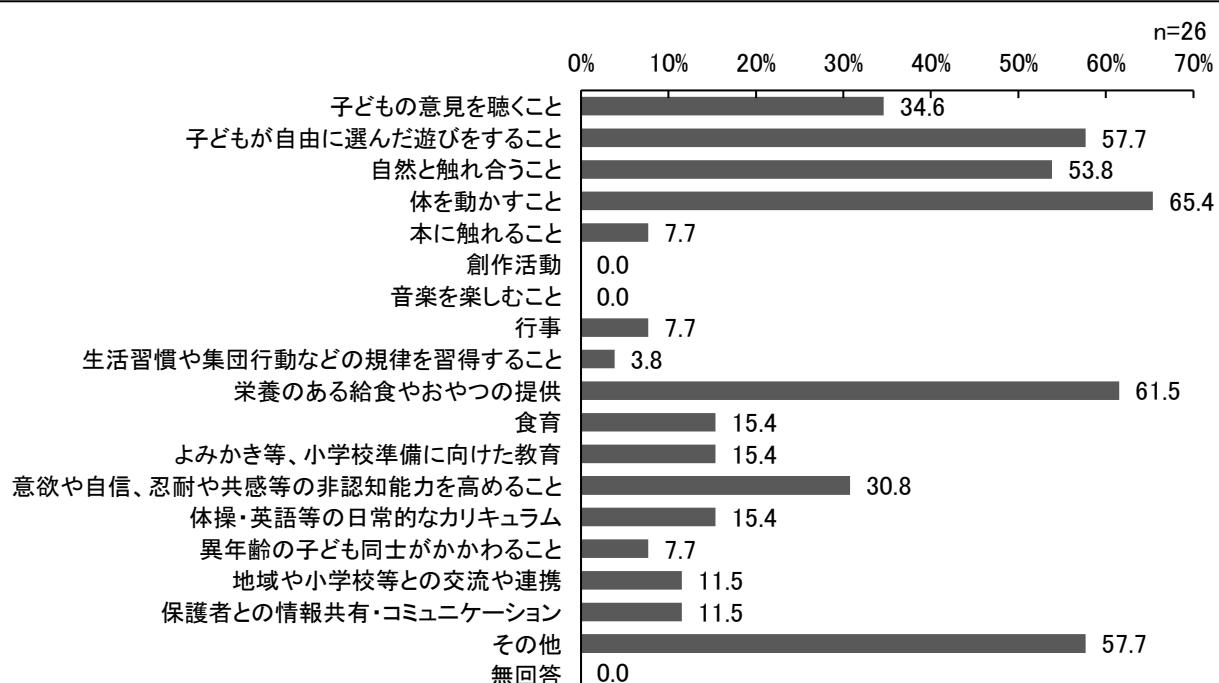
問 15 保護者から聞いた子育ての要望、問題点は何ですか（特にあてはまるもの 5 つまでに○）。



○「仕事をや育児・家事以外に、プライベートな時間を確保したい」が 61.5%、次いで「定時退社等ができるような職場理解や職場の環境を改善してほしい」が 46.2%となっています。

◆施設に時間を多く割いてほしいこと（問 16）

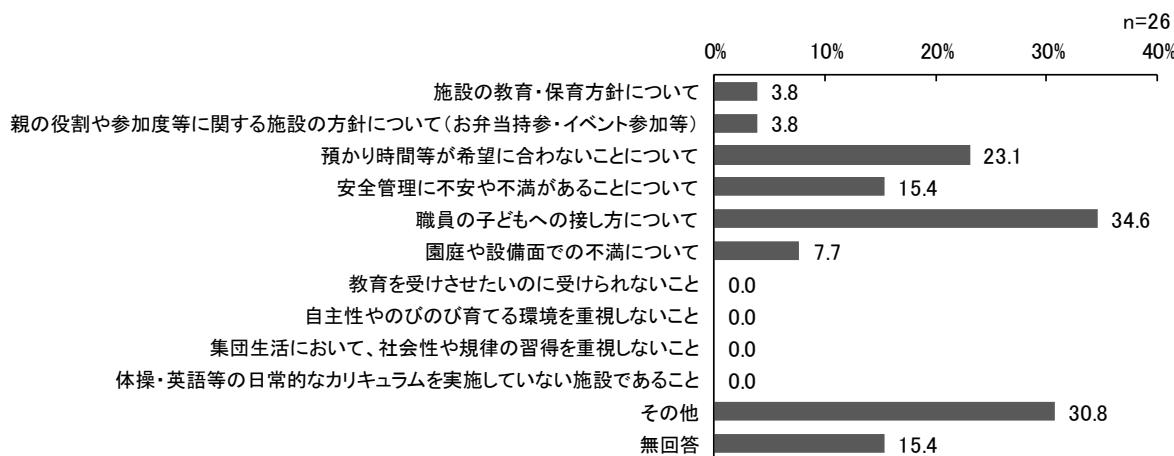
問 16 保護者が施設に時間を多く割いてほしいと思うことは何ですか（特にあてはまるもの 5 つまでに○）。



○「体を動かすこと」が 65.4%、次いで「栄養のある給食やおやつの提供」が 61.5%となっています。その他の内容の記載はありませんでした。

◆保護者からの苦情内容（問 17）

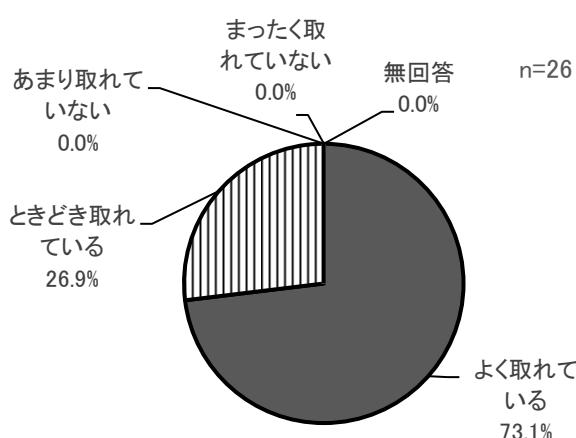
問 17 保護者からあつた最近の苦情内容についてお答えください（特にあてはまるもの 3 つまでに○）。



- 「職員の子どもへの接し方について」が 34.6%、次いで「その他」が 30.8%となっています。その他の内容としては“駐車場の待ち時間が長い、台数を増やしてほしい”や“今後、園の移行の話”等の意見がありました。

◆保護者とのコミュニケーション（問 18）

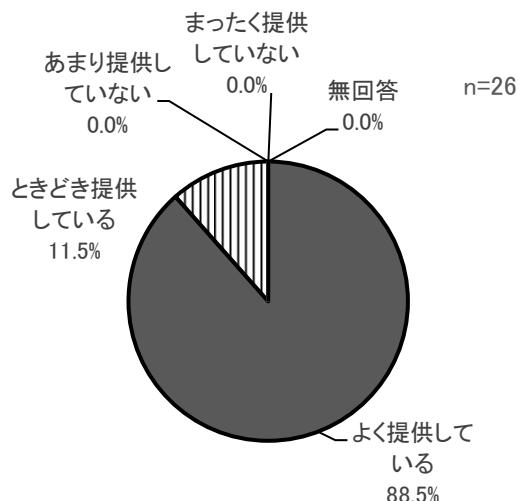
問 18 保護者とのコミュニケーションは取れていると思いますか（○は 1 つ）。



- 「よく取れている」(73.1%)と「ときどき取れている」(26.9%)を合わせた『取れている』は 100%となっています。

◆保護者への情報提供（問19）

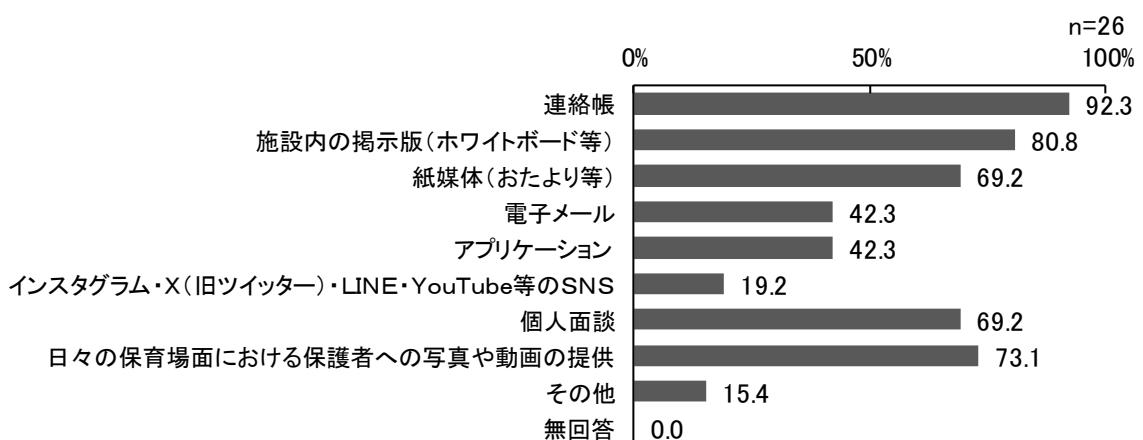
問19 園での子どもの過ごし方は保護者へ情報提供していますか（○は1つ）。



- 「よく提供している」(88.5%)と「ときどき提供している」(11.5%)を合わせた『提供している』は100%となっています。

◆コミュニケーションにおける伝達手段（問20）

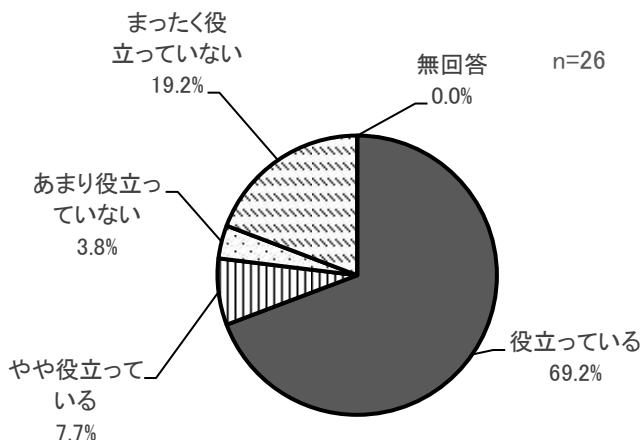
問20 保護者との日常のコミュニケーションにおいて用いる伝達手段は何ですか（あてはまるものすべてに○）。



- 「連絡帳」が92.3%、次いで「施設内の掲示版(ホワイトボード等)」が80.8%、「日々の保育場面における保護者への写真や動画の提供」が73.1%となっています。その他の内容としては“日常的な直接の会話”や“日々お迎え時にお子さんのその日の出来事等保護者に伝えている”等の意見がありました。

◆アプリケーション等の利用は役立っているか（問 21）

問 21 保護者とのコミュニケーションの伝達手段で、アプリケーション等の電子媒体の利用は役立っていますか（○は1つ）。



- 「よく役立っている」(69.2%)と「やや役立っている」(7.7%)を合わせた『役立っている』は76.9%となっています。

◆保護者への情報提供（問 22）

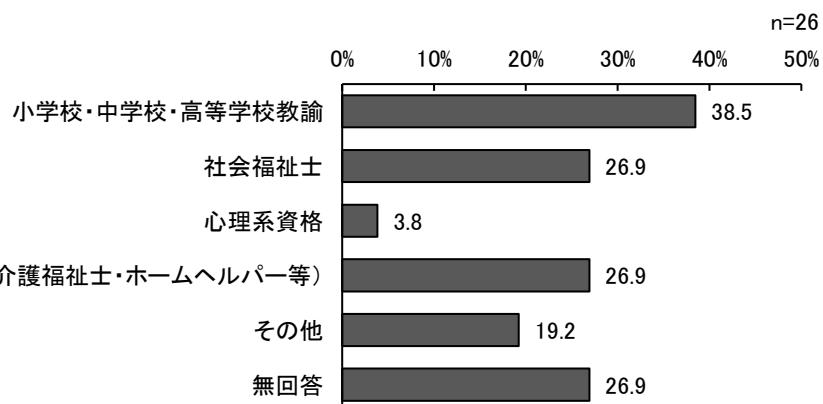
問 22 保護者からあった要望への最近の対応例があればご自由にお書きください（自由記述）。

- ケガ、病気の治癒期間中の保育。
- 写真販売・行事の際の持ち物の掲示を早く行ってほしい。
- アプリケーションだけでなく、紙媒体も続けてほしい。
- 園児にケガをさせた際は、必ず知らせてほしい。園の方針で伝えないと説明し、続くようであれば臨機応変に対応する。
- 新年度に提出する児童票について、変更がなければはじめの書類を継続してほしい。変更があった時のみ書き入れとするようにした。
- 懇談の機会を増やしてほしい。クラス懇談会を実施したところ好評であった。
- 行事時の駐車場を使えるようにしてほしい。遠方の方を優先する声掛けをしたが、行き届かない台数であった。
- 絵本の貸出を再開してほしい。改めて貸出ルールを周知して開始した。
- 保護者が病気・感染症になった時、子どもは熱がないため預けたい。園と保護者で利用時間を決めてお預かりした。

3 職員の質の向上と取り組み状況について

◆職員が保有している資格や免許（問23）

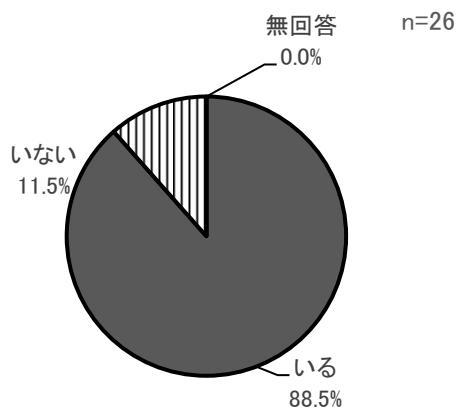
問23 幼稚園教諭、保育士、看護師・保健師、栄養士、調理師以外で職員が保有している資格や免許についてお答えください（あてはまるものすべてに○）。



- 「小学校・中学校・高等学校教諭」が38.5%、次いで「社会福祉士」、「介護系資格（介護福祉士・ホームヘルパー等）」、「その他」が26.9%となっています。その他の内容としては“モンテッソーリ教育国際資格：0歳～3歳、3歳～6歳”や“精神保健福祉士、福祉施設士”等の意見がありました。

◆定年以外で退職された人の有無（問24）

問24 ここ1年の間で、定年以外で退職された人はいましたか（○は1つ）。

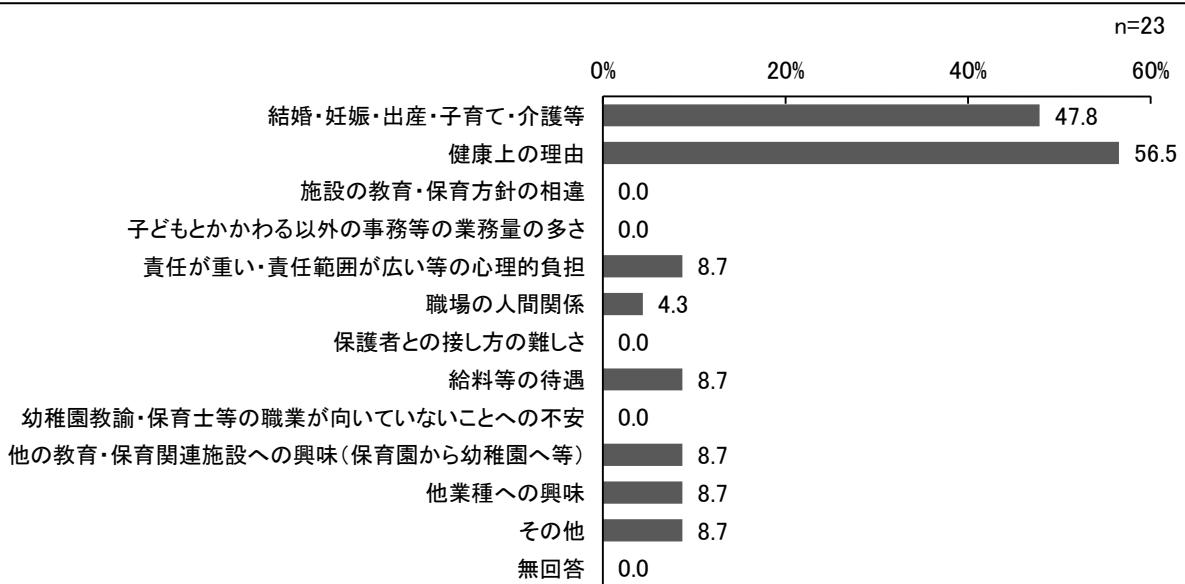


- 「いる」が88.5%、「いない」が11.5%となっています。

◆退職の理由（問25）

問24で「1 いる」に○をつけた方にうかがいます。

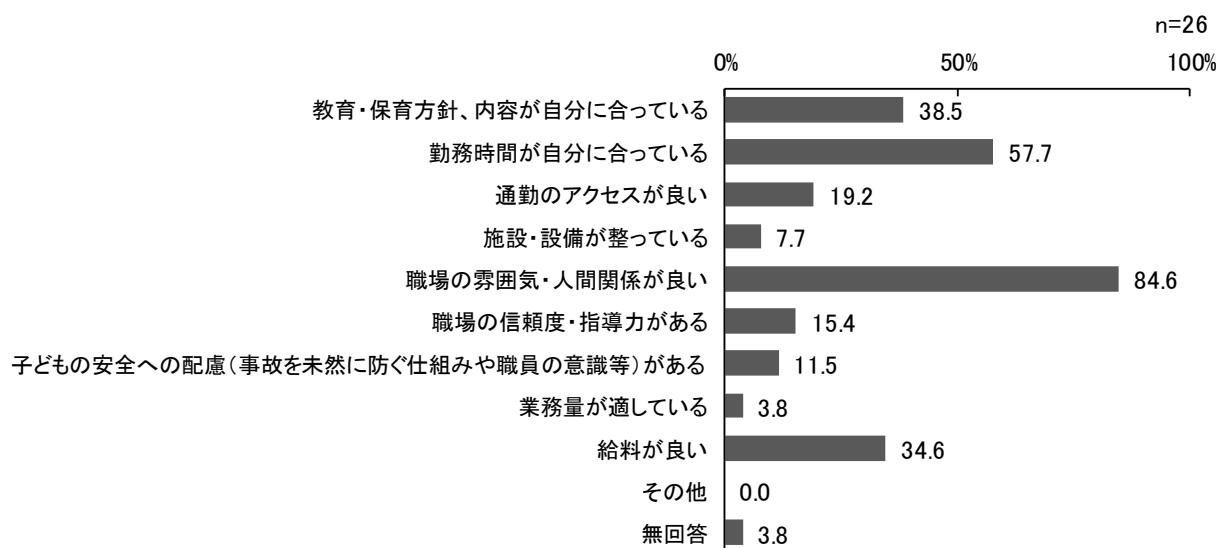
問25 退職の理由は何ですか（あてはまるものすべてに○）。



- 「健康上の理由」が56.5%、次いで「結婚・妊娠・出産・子育て・介護等」が47.8%となっています。

◆職員が長く働いてくれる要因（問 26）

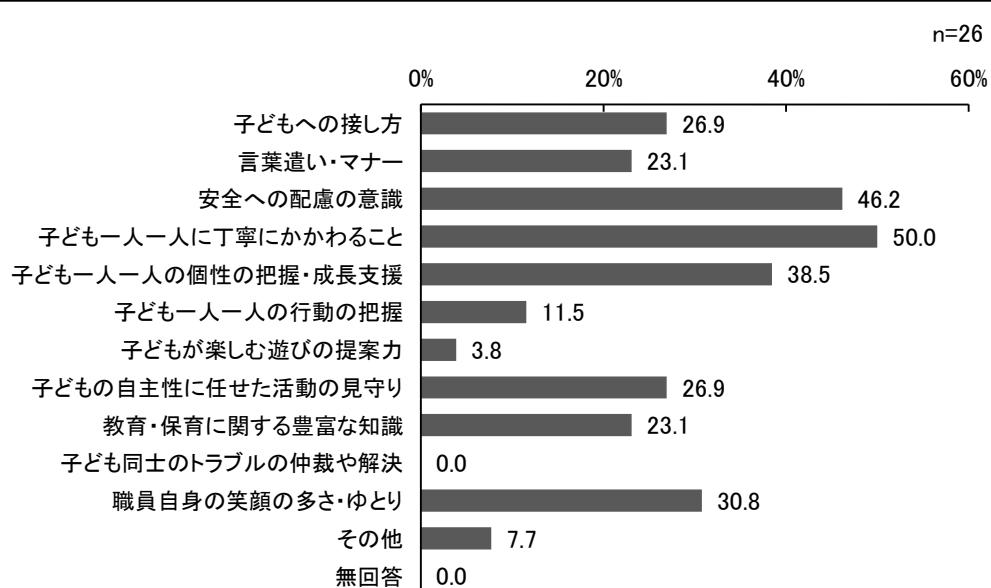
問 26 職員が長く働いてくれる要因は何だと思いますか（特にあてはまるもの3つまでに○）。



- 「職場の雰囲気・人間関係が良い」が 84.6%、次いで「勤務時間が自分に合っている」が 57.7%となっています。

◆職員に求める課題（問 27）

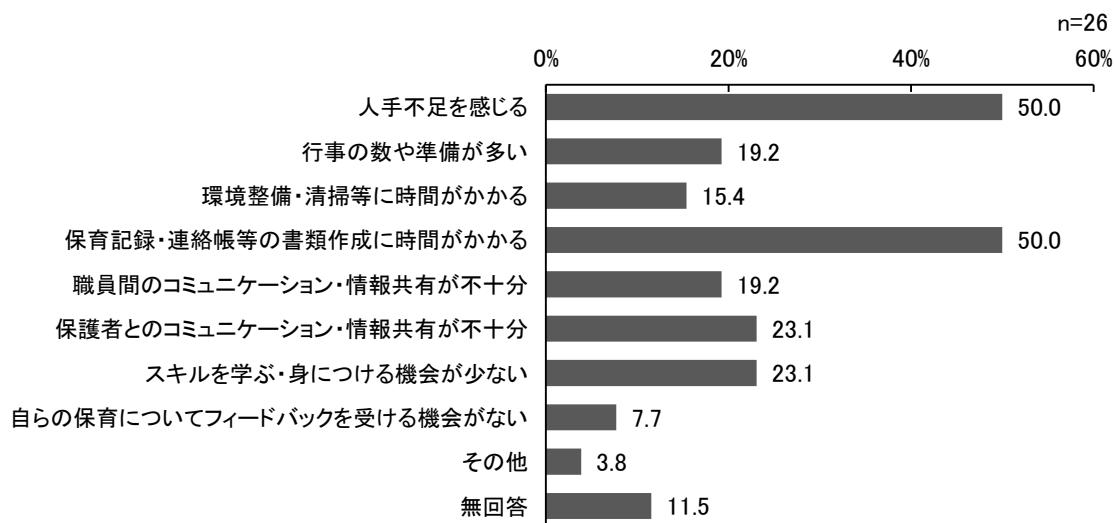
問 27 職員に求める課題は何ですか（特にあてはまるもの3つまでに○）。



- 「子ども一人一人に丁寧にかかわること」が 50.0%、次いで「安全への配慮の意識」が 46.2%となっています。

◆職員が抱えている問題点（問 28）

問 28 職員が抱えている問題点は何だと思いますか（特にあてはまるもの 3つまでに○）。



- 「人手不足を感じる」と「保育記録・連絡帳等の書類作成に時間がかかる」が 50.0%、次いで「保護者とのコミュニケーション・情報共有が不十分」と「スキルを学ぶ・身につける機会が少ない」が 23.1% となっています。

◆職員の次年度への意向把握や研修、情報共有について（問 29）

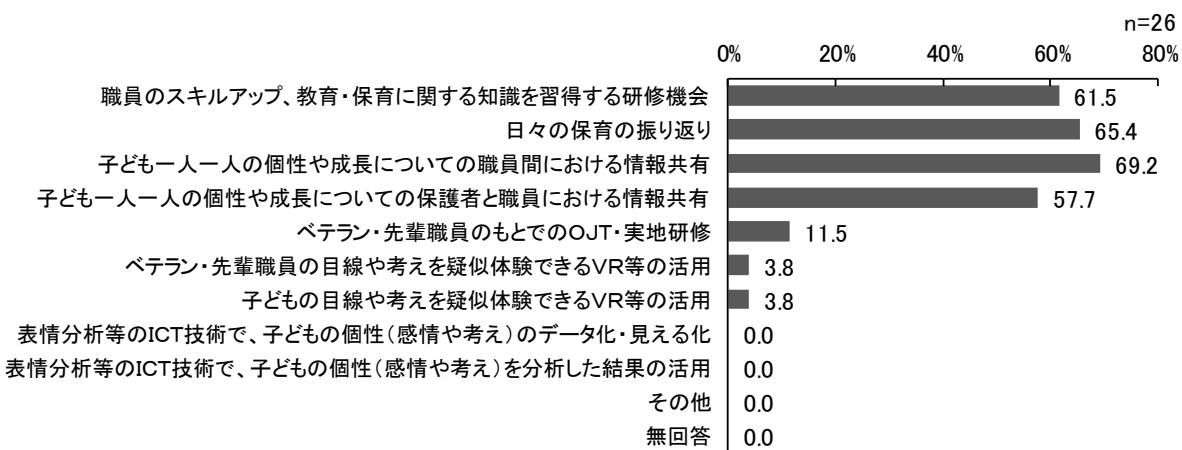
問 29 職員の次年度への意向把握や研修、情報共有について実施状況をお答えください（それ○は 1 つ）。

	毎日	週に 1 回	月に 2 ~ 3 回	月に 1 回	半年に 1 回	年に 1 回	実施してない	無回答
①職員会議の実施	7.7	15.4	23.1	53.8	0.0	0.0	0.0	0.0
②職員との意向面談	0.0	0.0	0.0	7.7	50.0	34.6	0.0	7.7
③自己評価シートの作成	0.0	0.0	0.0	11.5	30.8	38.5	19.2	0.0
④園内研修の実施	0.0	0.0	7.7	38.5	46.2	3.8	3.8	0.0
⑤園外研修の実施	0.0	0.0	7.7	26.9	46.2	15.4	0.0	3.8
⑥日常的な職員同士の情報共有	84.6	7.7	3.8	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0
⑦他の子育て関連施設との情報共有	0.0	0.0	19.2	34.6	15.4	3.8	26.9	0.0

- 「⑥日常的な職員同士の情報共有」は「毎日」(84.6%) が最も多く、「②職員との意向面談」は「半年に 1 回」(50.0%)、「③自己評価シートの作成」は「年に 1 回」(38.5%) と最も多くなっています。

◆寄り添った支援をするために行うこと（問30）

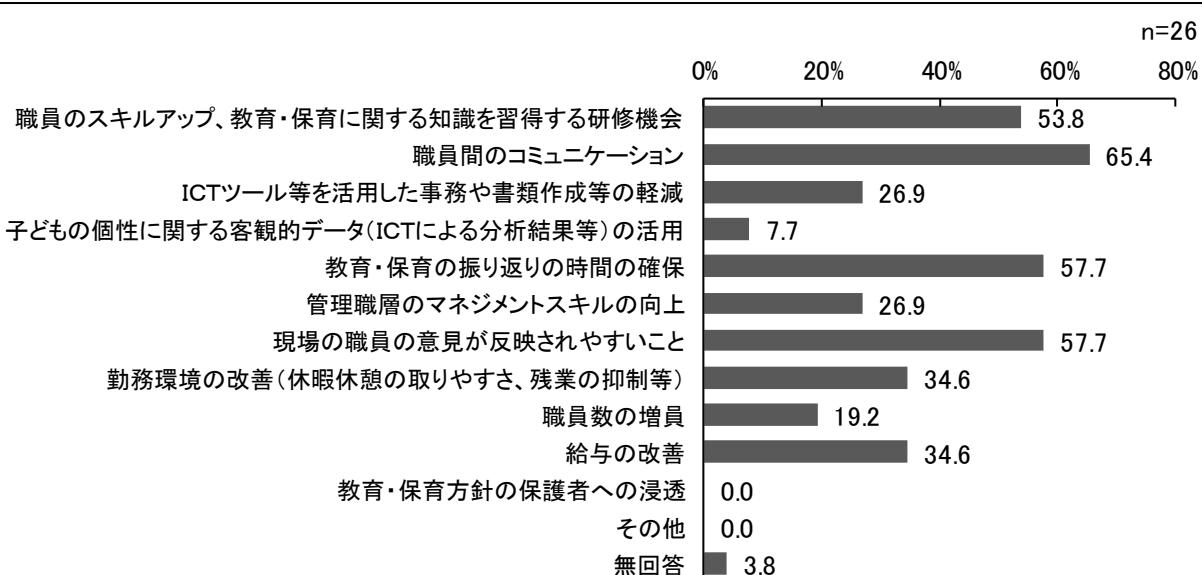
問30 子ども一人一人に寄り添った支援をするために、どのようなことができるとよいと思しますか（特にあてはまるもの3つまでに○）。



- 「子ども一人一人の個性や成長についての職員間における情報共有」が69.2%、次いで「日々の保育の振り返り」が65.4%、「職員のスキルアップ、教育・保育に関する知識を習得する研修機会」が61.5%となっています。

◆職員が施設に求めること（問31）

問31 よりよい教育・保育の実現のために、職員が施設に求めることは何だと思いますか（特にあてはまるもの5つまでに○）。



- 「職員間のコミュニケーション」が65.4%、次いで「教育・保育の振り返りの時間の確保」と「現場の職員の意見が反映されやすいこと」が57.7%となっています。

◆職員の様子について（問32）

問32 職員の様子についてお聞かせください（それぞれ○は1つ）。

n=26
単位：%

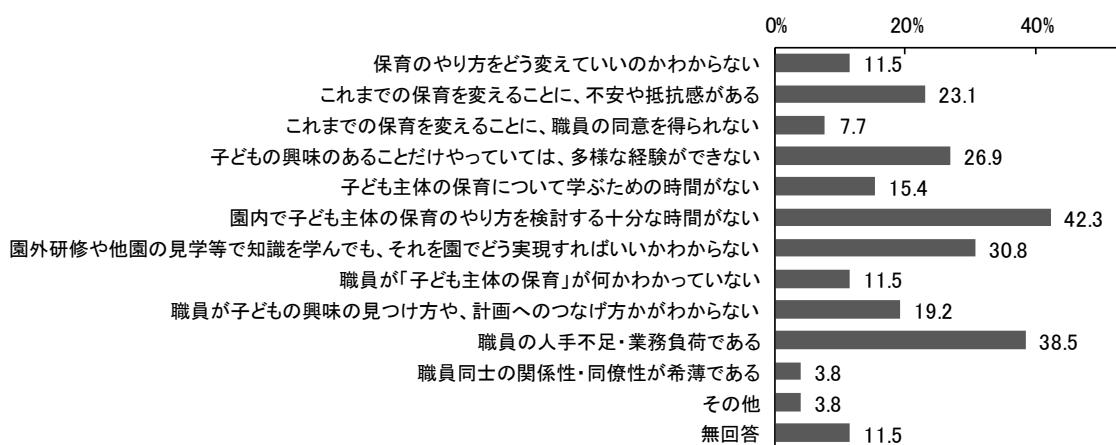
	とても思う	やや思う	あまり思わない	全く思わない	無回答	思う計
①園全体に一体感がある	23.1	69.2	3.8	0.0	3.8	92.3
②職員同士の連携がとれている	26.9	61.5	7.7	0.0	3.8	88.5
③安心できる雰囲気がある	34.6	57.7	3.8	0.0	3.8	92.3
④職員たちがのびのびと保育をしている	42.3	53.8	0.0	0.0	3.8	96.2
⑤職員同士が子どもの姿をよく語り合っている	46.2	46.2	3.8	0.0	3.8	92.3

- 「とても思う」と「やや思う」を合わせた『思う』の割合は、全ての項目で8割以上でした。特に「④職員たちがのびのびと保育をしている」の『思う』の割合は96.2%と最も高くなっています。

◆「子ども主体」への課題（問33）

問33 「子ども主体」への課題についてあればお答えください（特にあてはまるもの5つまでに○）。

n=26



- 「園内で子ども主体の保育のやり方を検討する十分な時間がない」が42.3%、次いで「職員の人手不足・業務負荷である」が38.5%となっています。

◆今後、職員へ期待すること（問 34）

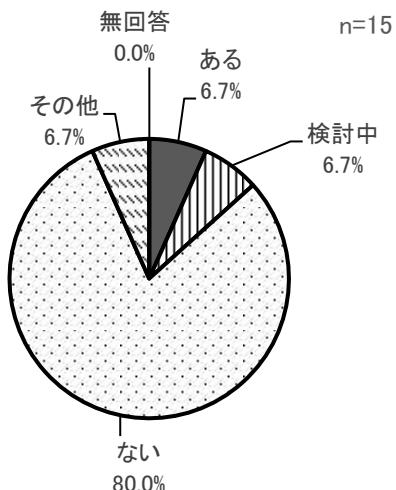
問 34 今後、職員へ期待することができればご自由にお書きください（自由記述）

- 子どもの育ち、主体性については日頃より取り組んでいるため、一人ひとりが目標意識を明確にし、業務に取り組んでもらいたい。
- 職員研修や育成を計画的に行っているので、それぞれの経験や能力によって、遠慮し合うことなく「子ども達の最善の利益のため」に明朗で謙虚にしたい。
- 成長し合えることを期待したい。
- 皆で勉強しながら、同じ方向に向かって進めていける様にしていただきたい。
- 子どもと同じ目線になって保育していってほしい。
- 保育士を目指した時の初心にもどり、子どもたちに接してほしい。
- 自己研鑽を重ねてほしい。仕事への情熱、意欲を持ってほしい。
- 職員が主体性、積極性をもって保育にあたり、保育士としての専門性を高めていきたい。
- 自己分析能力、自己実現能力の向上。管理職依存から脱却したい。
- ICT 導入により職員の業務も随分効率化を図れるようになってきたと感じている。
- 便利なツールに頼り過ぎず、顔と顔を合わせ上手に関係を築いて行けるコミュニケーションスキルを身に着けてもらいたいと思う。
- もっと積極的に研修に参加して、現代の保育に求められているものを、きちんと理解して受け入れてもらいたい。
- 「右向け右」から脱却したい。
- 自分の保育に自信をもって、子どものために、みんなで作り上げていこうという協働意識と同僚性を高めていきたい。
- 園は、その芽が育つような土壌（人的・物理的環境）を整備したい。
- 開園してから 2 年目の保育園の為、自由に先生たちの行いたい保育ができる環境となっている。なんでも良いのではなく、上司にお伺いをしながら、保育や行事繋げていくことができる体制を整えるとより良い園になっていくと痛感している。
- 人間関係で退職してしまうことが多い保育業界ですが、長く勤めらてるような園となる為に、人に対しての陰口（保護者・子ども・職員）をなくなるようにしたい。
- うわべだけ優しい人ではなく、心根が優しい人であってほしいと思う。
- いつも見られていたり、聞かれていることを常に意識してほしいと願う。
- 職員の知識の向上のため、研修を積極的に行っている。また、職員会議にて、研修内容を伝える機会を持っている。

◆認定こども園への移行希望（問 35）

問1で「幼稚園」「認可保育所」に○をつけた方にうかがいます。

問35 今後、認定こども園への移行希望はありますか（○は1つ）。



○「ない」が80.0%、「ある」と「検討中」「その他」が6.7%となっています。

◆認定こども園へ移行希望の時期（問 36(1)）

問35で「1 ある」または「2 検討中」に○をつけた方にうかがいます。

問36（1） 認定こども園へ移行希望の時期をご記入ください。

- 令和8年

◆認定こども園へ移行希望する理由（問 36(2)）

問35で「1 ある」または「2 検討中」に○をつけた方にうかがいます。

問36（2） 認定こども園へ移行希望する理由をご記入ください（自由記述）

- 地域ニーズに合わせた施設であるため、子どもたちが穏やかに成長できるよう、より良い環境で養護と保育、教育を展開していきたいため。

◆その他、市へのご意見、ご要望（問37）

問37 その他、市へのご意見、ご要望があればご自由にお書きください（自由記述）

- 配慮の必要な園児が増える中で、職員配置の人数が足りず人手不足に困っている。
- 出生率が高い「昭島市」だからこそ、子育てしやすい＝働く保育者達にも働きやすい「昭島市」になってほしい。
- 他市にない「特別な何か」で人材確保の策を打ち出してほしい。
- 「休日保育」の需要が少ないが、必要としている家庭があるので、需要が少ない＝やめるではなく、継続できる支援をお願いしたい。
- 分園の移行の話が進まない。
- 外国人の入所希望増加に伴う情報提供。
- 育休中の保護者が8時間の保育を利用する必要があるのか検討してほしい。
- 親の都合で不必要に保育時間が長くならないように、認定時間と保育利用時間は違うことを保護者へ周知徹底してほしい。
- 子育て支援として多様な保育サービスの提供は必要であるが、少子化対策には多様な働き方や就労時間の短縮等労働環境の整備が効果的ではないか。
- 保育士がもっと外部に目を向けて、子ども主体の保育を学ぶ研修を活用したいため、情報提供してほしい。
- 市の職員間で情報共有をしてほしい。
- 園舎の老朽化、インフラ整備が滞っている。
- 医療的ケア児や障害児（神経発達症を含む）への個別対応スペースが不足している。
- 天災の危険リスクがあるため移転・大規模修繕を希望しているが進まない。
- 子どもたちの「今」は待ったなし、大人に課せられている責任も待ったなし。
- 保育が必要な子どもたちと、その子の未来にいつまでも寄り添えるような福祉施設であり続けたい。
- 企業主導型保育園から認可保育園へ移行への支援。移行できない場合は、企業主導型保育園へも子育て支援イベント等の地域支援補助金の支給対象としてほしい。
- 病児病後児保育では他の保育園や幼稚園へ通っている子どもの受け入れができるため、地域に貢献できる園にしていきたい。
- 認可外保育施設へも、認可保育園のように発達が気になる子どもへの巡回と相談・指導に来ていただきたい。